

(別記様式第3号の2)

平成21年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業 企画提案書

提 案 課 題	
(1) 高付加価値型製造システム	
(2) 小規模分散型製造システム	

※ 提案する課題に○をつけてください。

(提案課題名)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※ 他の提案と区別するため、提案内容が簡潔に識別できる課題名を記載してください。

平成21年○月○日

提案者名 ○○○○

※ 提案者名には、応募される事業者名を記載してください。

企画提案書 項目一覧

項 目	企画提案書該当頁
1. 事業に対する考え及び概要	
2. 事業の内容	
(1) 製造システムについて	
① 製造システムの内容	
② 製造技術フロー図	
③ 提案する製造システムによる効果	
(2) 技術実証に関する課題と内容について	
① 製造に関する技術実証の課題	
② 技術実証課題の解決方法	
(3) 実証施設の整備について	
① 施設整備内容	
施設配置図	
② 技術実証実施場所の概要	
3. 事業の運営について	
(1) 事業の計画について	
① 全体計画	
② 21年度実施計画	
(2) 事業の実施体制について	
① 事業の管理体制	
② 実施体制図	
③ 技術評価委員会等について	
(3) 事業予定額について	
① 事業の予定額	
② 見積書（平成21年度実施計画分）	

※ 各頁に頁番号を記載し、下記に該当頁番号を記載してください。

1. 事業に対する考え及び概要

※ 農林水産省及び林野庁の基本政策や本事業の趣旨・目的及び留意点を踏まえ、事業の概要を総括的に記載してください。

2. 事業の内容

(1) 製造システムについて

① 製造システムの内容

製造システムの名称

製造物の名称

※ この製造システムが目的としている製造物を記載してください。

製造物の用途

※ 実用化にあたり想定する具体的な用途を製造物毎に記載してください。

製造システムの目的

※ どのように活用することを目的とした製造システムか、原料や製造物、利用形態等について簡潔に説明してください。

製造システムの特徴

※ 製造システムの技術の特徴、新規性について簡潔に説明してください。

技 術 内 容	※ バイオマスの前処理・変換工程等に導入する技術について説明してください。
課 題	※ 本事業に適用する技術のこれまでの研究開発状況、本事業において取り組むべき課題について簡潔に記載してください。
先行特許及び技術開発者	※ 本事業に関連する特許権等を既に取得又は出願している場合、その名称及び概要を記載してください。また、技術の開発者名（研究機関、企業名等）を記載してください。

・副産物等の利用又は処理について

副産物、残渣等の名称	利用法又は処理法	1日及び1年当たりの		備 考
		発生量	使用量	
課 題 等	※ 副産物、残渣等の利用、処理等に適用する技術のこれまでの研究開発状況、本事業において取り組むべき課題があれば簡潔に記載してください。			

② 製造技術フロー図

※ 本事業の経費対象の範囲がわかるように記載してください。

※ 添付資料：提案する製造システムに関する技術資料を添付してください。公開済の資料の場合は、名称のみの記載でも構いません（後日、審査の参考資料として提出を求める場合があります）。

③ 提案する製造システムによる効果

※ 提案する製造システムが実用化された場合に期待される波及効果について、製造システム自体や製造物による波及効果、地域や原料供給元への影響等、項目別にわかりやすく記載してください。

(2) 技術実証に関する課題と内容について

① 製造に関する技術実証の課題

課 題 項 目	内 容
(記載例) ① 製造効率	
② 製造コスト	
③ 製品の品質、性能等を向上させる技術の開発、導入	
④ プラントの連続運転	
⑤ 副産物の処理、高度利用	
等	

※ 実証試験の必要性がわかるように、課題等を具体的に記載してください。上記の項目は一例です。

② 技術実証課題の解決方法

課 題 項 目 ・ 試 験 項 目	試 験 方 法	達 成 目 標

※ ①の課題を解決するための実証試験項目及び実証試験方法を具体的に記載してください。

(3) 実証施設の整備について

① 施設整備内容

整備する施設内容		※ 整備する設備がわかるように記載してください。				
原料処理量		※ 原料木質バイオマスの処理量を記載してください。				
最大処理量		実証時の年処理量				
時間処理量	日処理量	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
製造量		※ 製造物が複数ある場合には製造物毎に記載してください。				
最大製造量		実証時の製造量				
時間製造量	日製造量	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
製造効率		※ 目標とする製造効率を記載してください。				
製造効率		製造効率目標				
現状値	最終目標値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
実証稼働日数		※ 稼働予定日数を記載してください。				
21年度	22年度	21年度	23年度	24年度	25年度	

・環境特性等

項目	法令名	規制値	計画値	備考

※ 事業実施に伴う排気、排水、騒音、振動等による環境への悪影響がないことについて記載してください。

・施設配置図

※ 施設配置図を添付してください。

② 技術実証実施場所の概要

※ 提案課題を実施する場所とその選定理由を記載してください。

・実証施設設置場所について

住 所	
設置場所等の名称及び所有者名	※ 設置場所の所有者が応募者と異なる場合には、使用形態、使用料の有無等について記載してください。
選 定 理 由	
地 元 調 整 等	※ 法令等により地元住民への説明が義務づけられていない場合においても、実証施設の設置に関し地元住民へ説明・周知等を実施してください。事業実施に関し地元住民への了解が得られていることを確認できる資料を添付してください。
行 政 手 続 等	※ 事業実施に当たり許認可や届出等の行政手続等が必要な場合は、必要な手続全てについて手続状況、手続計画がわかる資料を添付してください。特に、手続未了のものについては行政機関の担当窓口、通常の事務手続期間、懸案事項、見込等を記載してください。
位 置 図	

・上記以外の技術実証実施場所

実 証 実 施 場 所	実 施 内 容 及 び 選 定 理 由
(例) ○○社○○研究所 ○○大学○○研究室等	

(2) 事業の実施体制について

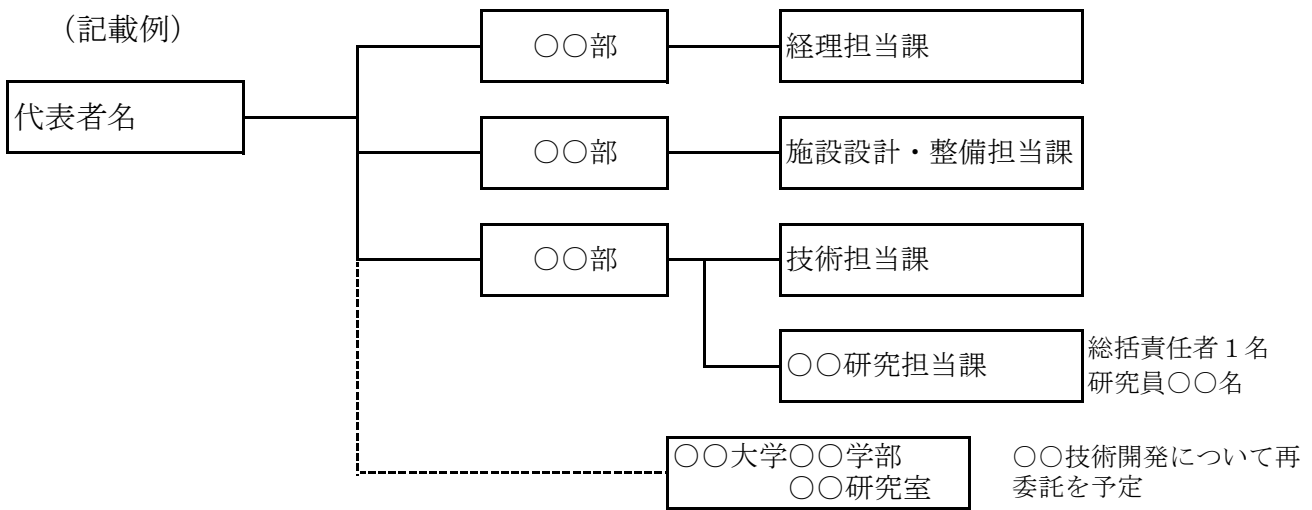
① 事業の管理体制

管 理 体 制	所 属	氏 名	連 絡 先
事業管理責任者			
技術実証責任者			
施設整備・管理責任者			
経理責任者			

※ 上記は記載例です。実施体制に応じた管理体制を記載してください。

② 実施体制図

(記載例)



※ 本事業全体の事業体制について記載してください。

人員配置（業務管理責任者、担当者数等）、業務内容等がわかるように記載してください。

なお、再委託を予定している場合には、わかるように記載してください。

※ 年度により体制が異なる場合には、該当年度がわかるように記載してください。

③ 技術評価委員会等について

※ 外部の有識者から構成される技術評価委員会の開催計画、構成員について記載してください。

(3) 事業予定額について

① 事業の予定額

※ 本事業全体の予定額と内訳を年度毎に記載してください。

(千円)

項 目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	計
計						

② 見積書（平成21年度実施計画分）

※ 平成21年度の実施に必要な経費の全ての金額（消費税等の一切の経費を含む）について、見積書及び内訳書を作成してください（円単位）。
内訳については、事業の運営、技術実証、施設の整備等、項目ごとの詳細がわかるように記載してください。